

英語	2年A組(男子3人女子4人)	6月28日(火)1校時	授業者: 島居 瞳
単元名	Lesson 1 “Peter Rabbit” Round 4		

1 本質的な問いによる単元構想	
本質的な問い	外国語が相手に伝わったら嬉しいのはなぜだろう。
単元を貫く問い	自分の思いを英語で表現するにはどうしたら良いのだろうか。
個別の問い	Round 1: 英語を聞いて、その内容をざっくり捉えるにはどうしたら良いのだろうか。 Round 3: 英文を読んで、スラスラ読めるようになるにはどうすれば良いのだろうか。 Round 4: 語順を意識して読めるようになるにはどうすれば良いのだろうか。 Round 5: 教科書の内容について発見したこと、思ったことを自分の言葉で伝えるにはどのようにしたらよいのだろうか。 言語活動: 「今年挑戦したいこと」のスピーチを通して、ALTに自分のことをよりよく知ってもらうためにはどのように伝えたらよいのだろうか。

2 単元について

<p>【単元観】</p> <p>本校では5ラウンドシステムによる指導を取り入れている。教科書の Lesson は年間2単元で構成しており、本単元では Lesson1~4 を扱う。</p> <p>【内容面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語を読んで感じたことを紹介する場面 ・職場体験を通して、将来の夢を発表する場面 ・学校行事(林間学校)の様子を伝える場面 ・世界遺産や日本と海外の国々との共通点と違いを説明する場面 <p>以上の内容を扱っており、好きな本、職場体験学習、行ってみたい国など身近な話題で話したり書いたり、理由など具体的に考えて、自分の考えや気持ちを伝え合う活動に適している。</p> <p>【言語面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続詞(if, that, when, because)を用いて状況や場面を述べている。また、I think や I hope などを使って感想を述べているので、発表に向けて自分の考えやその理由を述べる表現につながる。 ・不定詞を用いて、やりたいこと挑戦したいことなど具体的に述べたり、目的を明確に伝えたりする表現につながる。 ・事物の所在を表す There is/are 構文で新しい情報を相手に提示し、様子等を伝えられる。また不定詞と動名詞の言い換えて表現の幅を広げることにつながる。 ・giveAB、makeABの用法で、「誰(何)が」「どうする」の主語と動詞を正しく捉えることを意識させる表現で、伝えたい内容を明確にし、説明する力をつける。 	<p>【生徒観】</p> <p>本学級生徒に対して、令和4年6月に実施した質問紙調査の結果は次の通りである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>質問内容</th> <th>肯定的評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 英語の勉強は好きである</td> <td>85.7%</td> </tr> <tr> <td>2. 英語の授業以外で英語を使ってみたいと思う。</td> <td>57.1%</td> </tr> <tr> <td>3. 外国人と積極的にコミュニケーションを図りたい。</td> <td>57.2%</td> </tr> <tr> <td>4. 英語の授業はよく分かる。</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>5. 英語を聞いて概要や要点を捉えるようにしている。</td> <td>85.8%</td> </tr> <tr> <td>6. 英語を読んで概要や要点を捉えるようにしている。</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>7. 原稿などの準備をすることなく、即興で自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。</td> <td>85.7%</td> </tr> <tr> <td>8. スピーチやプレゼンなど、まとまった内容を発表している。</td> <td>57.2%</td> </tr> <tr> <td>9. 自分の考えや気持ちなどを英語で書くようにしている。</td> <td>57.1%</td> </tr> <tr> <td>10. 聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりしている。</td> <td>71.5%</td> </tr> <tr> <td>11. 聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり、自分の考えを英語で書いたりしている。</td> <td>57.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>本学級の生徒は、聞き取れた内容の共有や、音読のペア練習での教え合いなど、意欲的に活動に参加し、協力して学習に取り組むことができる。一方で、英文を聞く、読むことには前向きな反面、基礎基本の定着が課題であり、話す、書く活動への不安感につながっている。表現活動の振り返りでも自分の思いや理由等が英語で伝えられないという記述が多く見られ、文レベルのコミュニケーションが苦手であり、発表になると声が小さくなる。そのためまとまりのある内容を話すことは困難が予測される。</p> <p>このことから、授業では1トピックに対し一問一答のみでスタートしており、英文で答えることに少しずつ慣れてきている。こうして7のコミュニケーションで自信を付けていき、8の発表につなげていきたい。またラウンドを通してインプットの量と質の課題を共有し、家庭学習につなげていく。この繰り返しを積み重ね、まとまりのある内容をALTに向けて発表し、2、3につながる積極性を育成したい。</p>	質問内容	肯定的評価	1. 英語の勉強は好きである	85.7%	2. 英語の授業以外で英語を使ってみたいと思う。	57.1%	3. 外国人と積極的にコミュニケーションを図りたい。	57.2%	4. 英語の授業はよく分かる。	100.0%	5. 英語を聞いて概要や要点を捉えるようにしている。	85.8%	6. 英語を読んで概要や要点を捉えるようにしている。	100.0%	7. 原稿などの準備をすることなく、即興で自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。	85.7%	8. スピーチやプレゼンなど、まとまった内容を発表している。	57.2%	9. 自分の考えや気持ちなどを英語で書くようにしている。	57.1%	10. 聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりしている。	71.5%	11. 聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり、自分の考えを英語で書いたりしている。	57.1%
質問内容	肯定的評価																								
1. 英語の勉強は好きである	85.7%																								
2. 英語の授業以外で英語を使ってみたいと思う。	57.1%																								
3. 外国人と積極的にコミュニケーションを図りたい。	57.2%																								
4. 英語の授業はよく分かる。	100.0%																								
5. 英語を聞いて概要や要点を捉えるようにしている。	85.8%																								
6. 英語を読んで概要や要点を捉えるようにしている。	100.0%																								
7. 原稿などの準備をすることなく、即興で自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。	85.7%																								
8. スピーチやプレゼンなど、まとまった内容を発表している。	57.2%																								
9. 自分の考えや気持ちなどを英語で書くようにしている。	57.1%																								
10. 聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりしている。	71.5%																								
11. 聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり、自分の考えを英語で書いたりしている。	57.1%																								

【指導観】

自信を持って発表できる力を育成するために、次の点に重点を置いて指導する。

〔Round 1〕リスニングタスクを変えながら何度も本文の音声を聞き、物語の「状況」や「主な出来事」を捉えることを意識させる。また、英語のリズムやイントネーションの音に集中させ、発表に必要な強弱や間をつかむ。

〔Round 3〕事実発問を通して、何度も音読し内容の理解を深める。新出単語を確認し、音と文字が一致するよう繰り返し練習することで、間違いを恐れず声を出す積極性を身につける。また本文について英語でやりとりをしながら、内容に対して自分の考えを述べ合う場面を作り、英語で伝え合う活動に慣れていく。

〔Round 4〕本文の動詞抜き、並び替えの穴あきシートを使用して言語形式に注目させ、各単元の言語材料の意味・形を理解する。必要に応じて文法事項を扱い、機能に気付かせながら、自己表現につながるフレーズを考えさせ、自分が言いたいことを簡単な語句や文に言い換える力につなげる。

〔Round 5〕本文の内容を振り返る文レベルのやりとりを目指し、英文を組み立てる力につなげる。ピクチャーカードを用いて、即興で本文の内容をリテリングする。言えなかった表現を共有し、内容面、言語面の質を意識させ、表現の幅を広げていく。

外国語科で育成したい「表現力」

英語を用いた活動を通して、英語でコミュニケーションを図っている。

3 単元の目標

「今年挑戦したいこと」について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、話し手として伝えたい順番や聞き手に分かりやすい展開を考えて話すことができる。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
①接続詞、不定詞、there is/are 構文、動名詞の特徴やきまりを理解している。	③日常的な話題について話される文章を聞いて、大まかな内容を捉えることができる。	⑤日常的な話題について話される文章を聞いて、大まかな内容を捉えようとしている。
②日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を順序良く話す技能を身に付けている。	④「今年挑戦したいこと」について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を順序良く話している。	⑥「今年挑戦したいこと」について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を順序良く話そうとしている。

5 単元計画

次	時	学習内容 学習活動	評価				
			知 技	思 判 表	態 度	評価規準	評価方法
1	8	Round 1: 何度も英文を聞き、音声のみのインプットから物語の概要を掴む。教科書のピクチャーカードをストーリー順に並べ替えていく等の活動を行い、物語の「状況」や「主なできごと」が自然と記憶に残るようにする。 Lesson 1～4 帯：動詞シート		○	○	思判表③ 態度⑤	後日リスニングテスト

2	8	Round3：ラウンド1で大まかな内容理解をした教科書本文を音読する。新出語句を確認する。本文の視写を行う。Lesson 1～4					
		帯：読みトレで初見の英文を読み、英問英答、また内容に関連したトピックでSmall Talkを行う。					
3	8	Round4：ラウンド3で音読練習したことを、自分の表現に結びつけられるよう、フレーズや言語形成に着目させながら音読練習を行う。Lesson 1～4					
		帯：パフォーマンスプロセスシートに沿って言語材料の練習を行う。					
4	8	Round5：教科書のストーリーを自分の言葉で伝えるリテリングに取り組む。Lesson 1～4					
		帯：形容詞シート、ペア練習					
		パフォーマンステスト：「ALTにTEDの取り組み」「今年挑戦したいこと」の発表を紹介し、自分のことをよりよく知ってもらおう」	○	○	○	知技② 思判表④ 態度⑥	発表

6 本時の授業計画

【本時の目標】

帯：トピックに関する自分の考えを伝えることができる。(思考・判断・表現/学びに向かう力、人間性)

ラウンド：内容を考えながら、穴あき音読ができる(A→B)(思考・判断・表現/学びに向かう力、人間性)

【準備物】パフォーマンスプロセスシート Round4 穴あきシート

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点・評価
帯 20分	①あいさつ、前時の振り返り	学力代名詞の働きを確認する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 本時のめあて 帯：トピックに関する自分の考えを伝えることができる。 ラウンド：内容を考えながら、穴あき音読ができる。A→B </div> ②読みトレ：ペアでインタビュー活動 表現 ・2分で初見の英文を読み、内容に関する問いに答える(答えの部分に下線を引く) ・トピックをディクテーション “What will you do if Sarah visits Hiroshima?” ・4分でインタビュー活動(音読→内容Q&A→トピックに関するQ&A) ・発表→評価 ・3分でライティング ③ 口頭でのQAで話の内容を振り返る。	支援 Qをスライドで表示する。 学力 初見の英文を読み、問いに答える 評価 ペアのやりとり 支援 文法、表現を提示。T-Sのやりとりで、例文を示す。 学力 接続詞を聞き取り、when、ifなどを使って自分の考えを述べる。
ラウンド 25分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 発問例・What did Riku read?・Did he enjoy the story? ・Is he going to read another English book? ・Did Ms. Brown like the story?・What's this? ・Who wrote the story of Peter Rabbit? </div> ④教科書を見ながら、1度流れを聞く。 ⑤新出語句の発音と意味の確認をする。 ⑥文法ポイントの英文を確認する。 ・I read it when I was a child. ・If you want another English book, I'll~ ・I think that~. ・They show that~.	支援 全体で新出単語の発音を確認し、読めるようにする。 学力 Round5に向けて自分の言葉で表現できるように、教師側が語順やフレーズを意識したQ&Aや音読をさせる。 評価 行動観察(内容を考えながら音読しようとしている。ペア活動)
思考 ↓ 表現		

振り 返り 5 分	<ul style="list-style-type: none"> ・ I hope that～ . ⑦ 個人練習 ⑧ ペアで A → B を練習 	
	<p>【生徒の姿の例】</p> <p>帯：I will make okonomiyaki for Sarah if she visits Hiroshima. I hope she will like it.</p> <p>ラウンド：内容抜きAシートを使用して音読できる。</p>	
	⑨ 本時の振り返り	

7 成果と課題

【成果】

帯：ペアで初見の英文を読み、内容に関するQ & Aと関連するトピックで紹介したいもの、場所など自分の考えを伝え合うことができていた。

ラウンド：内容抜きのシートAを使用し、内容を考えながらペアで音読練習をすることができた。

【課題】

- ・読めない単語があることで、途中で止まっている状態が見られることから、初見の文章はまず音を聞かせる。またラウンドでは文字と音の一致、音読を繰り返し行い、語彙の定着を図る。
- ・文法の理解と語彙不足により、即興で自分の考えなどを英文で思うように伝えることが難しい。
- ・教科書の内容理解で、実態に応じて代名詞や文法の補足説明も必要。代名詞や接続詞にフォーカスしたQ & Aを行い、語順やフレーズを意識し自己表現につながる音読をする。
- ・内容をより深く考えたり、自分の思いや考えを引き出せたりするようにQ & Aを工夫する。
- ・動詞、語順や文法表現の定着のため、A = 動詞、B = 並び替えのシートにする。また穴あき音読の目的を共有し、考えさせて取り組ませる。

8 生徒の作品等（記述例）

生徒の記述

I will go to Miyazima, because mane

I will go to Miyazama to see 巖島 shrine. I eat もみじまんじゅう

I think that "Itukushima shrine" because tori is beautiful.

I will go to Miyajima because I can see dear. I think that it's very cute.

I will go to Tom milk farm because I want to see cute animal.

I go to Miyazima food Momigi Manjyuu it derisas. I good Miyagima.

I will go to Miyajima. I will eat momijimanjyu there. It's good tasty.

生徒の振り返り

- ・穴あきをして改めて本文の単語と動詞を理解できました。トピックについての会話では理由などが伝えられなかったから、考えていることや望むことを伝えたい。
- ・広島の良いところを伝えるために発言できた。
- ・Aはスラスラ読めた。Bはつかえたり単語が出てこなかったりしたので、しっかり教科書を読んでいきたい。
- ・穴あき音読はしっかりできました。
- ・穴あきシートを使ってほしい覚えて音読できた。
- ・have はハンドルが付いているの「付いている」の意味もあることが分かった。
- ・読みトレはスムーズに読んでスラスラ質問に答えることはできなかったけど、教えてもらいながら何とか答えることができました。

外国語	1年A組(男子10人女子6人)	授業者: 仁谷 友紀
単元名	日本文化を伝えよう 【本時】Lesson 6 “Discover Japan” Round3	

1 本質的な問いによる単元構想	
本質的な問い	外国語が相手に伝わったらうれしいのはなぜだろう。
単元を貫く問い	初めて来日する外国人に、日本と外国の文化(食・芸術・学校)の違いを踏まえ、日本の文化を紹介するにはどう表現したら良いだろう。
個別の問い	○外国人に伝えたい日本の文化はどのように表現したら良いだろう。 ○日本の文化と外国の文化の共通点と相違点は英語でどのように表現したら良いのだろう。 ○教科書のどの表現を活用することができるだろうか。

2 単元について													
<p>【単元観】 本校では5ラウンドシステムによる指導を取り入れており、教科書のLessonを年間2単元で構成しており、本単元ではLesson4～8を扱う。 それぞれのLessonの内容は、家族の紹介や、故郷についての説明、学校生活の様子、旅行の思い出等が取り上げられており、外国の生活や学校生活について読み取り、日本の文化との共通点や相違点について考えることができる内容である。 また言語材料としては、3人称単数現在形、過去形、未来を表す表現、現在進行形、過去進行形が扱われており「相手のことを紹介」したり、「自分が体験したこと」を伝えたり、「外国人が日本ですること」を紹介する活動に適した単元である。 従って、本単元では学習指導要領の1目標(4)話すこと【発表】イ「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする」指導と位置付ける。</p>	<p>【生徒観】 本学級の生徒に対して、令和4年8月に実施した質問紙調査の結果は次の通りである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>質問内容</th> <th>肯定的評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 英語は好きです。</td> <td>77.0%</td> </tr> <tr> <td>2. 英語の授業以外で英語を使ってみたいと思います。</td> <td>84.6%</td> </tr> <tr> <td>3. 外国人と積極的にコミュニケーションを図りたいです。</td> <td>61.6%</td> </tr> <tr> <td>4. 英語の授業はよくわかります。</td> <td>78.6%</td> </tr> <tr> <td>5. スピーチやプレゼンなど、まとまった内容を発表している。</td> <td>30.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>質問1～4の結果から、本学級の生徒は意欲的に取り組む生徒が多いと言える。8の質問では肯定的評価が30.8%と「話すこと【発表】」に関して苦手意識のある生徒が多い。これまで学習してきた「話すこと【発表】」については「自分の好きなものの紹介」を行った。しかし、言いたいことを英語で表現することが難しく、十分に伝えることができなかった。その要因として、教科書のインプットが不十分であったことである。教科書の本文のインプットを十分に行った箇所は、教科書の表現を活用することができた。しかし、十分にインプットできなかった箇所では、活用することができなかった。</p>	質問内容	肯定的評価	1. 英語は好きです。	77.0%	2. 英語の授業以外で英語を使ってみたいと思います。	84.6%	3. 外国人と積極的にコミュニケーションを図りたいです。	61.6%	4. 英語の授業はよくわかります。	78.6%	5. スピーチやプレゼンなど、まとまった内容を発表している。	30.8%
質問内容	肯定的評価												
1. 英語は好きです。	77.0%												
2. 英語の授業以外で英語を使ってみたいと思います。	84.6%												
3. 外国人と積極的にコミュニケーションを図りたいです。	61.6%												
4. 英語の授業はよくわかります。	78.6%												
5. スピーチやプレゼンなど、まとまった内容を発表している。	30.8%												

<p>【指導観】 準備して行うスピーチやプレゼン等を行うことに苦手意識を持っている。そこで、本単元を通して、生徒が自身を持って発表できる力を育成するために次の点に重点を置いて指導する。</p> <p>① 単元を通したテーマとなる問を設定し、学習に対して見通しを持たせる。「初めて来日する外国人に、日本と外国の文化(食・芸術・学校)の違いを踏まえ、日本の文化を紹介する」という場面設定をし、その対象をALTの姉にすることで、生徒の話したい意欲につな</p>	<p style="text-align: center;">外国語科で育成したい「表現力」</p> <p>英語を用いた活動を通して、コミュニケーションを図っている。</p>
---	--

げる。

- ② 人の情報を聞き取る表現を身に付けさせる。相手の好きなものやニーズに合わせた日本文化の紹介ができるようにするために、相手のニーズを聞き取る表現を身に付けさせる。帯活動を活用して取り組む。また、一方的に話すのではなく、話す内容の相違点に着目し、◇しながら話せるように工夫する。
- ③ 相手のことを知るための問い方の表現を身に付けさせる。ALTの姉からのメッセージを聞く前に、その人をクイズ形式で当てさせる会話をALTとやり取りで行う。その際に活用できる表現を身に付けさせる。
- ④ 文化を紹介するときに必要な動詞や形容詞を定着させる。教科書の表現を活用しながら表現できるようにするために、教科書の内容を、5ラウンドシステムを活用しインプットさせる。

3 単元の目標

日本の文化について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
① 3人称単数現在形、現在進行形、過去形、過去進行形、未来を表す表現の特徴やまじりを理解している。 ② 3人称単数現在形、現在進行形、過去形、過去進行形、未来を表す表現の文構造を、理解をもとに、日本の文化について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。	③ 日常的な話題についてははっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。 ④ 日本の文化について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。	⑤ 日常的な話題についてははっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。 ⑥ 日本の文化について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話そうとしている。

5 単元計画

時	学習内容 学習活動	評価				
		知 技	思 判 表	態 度	評価規準	評価方法
10	Round1：何度も英文を聞き、音声のみのインプットから物語の概要をつかむ。(Lesson4～8)		○	○	③ ⑤	後日リスニングテスト
	帯：フォニックス、動詞の定着を行う。人あてクイズを通して、人物の情報を聞き取る活動を行う。					
10	Round2：英語の音と文字の一致をさせる。(Lesson4～8)					
	帯：動詞・形容詞のインプットを行う。相手のニーズに応じたおすすめるのために、相手のことをリサーチす					

	る。					
10	Round 3 : 発音・イントネーション等を踏まえた音読に取り組み、インプットの質を高める。(Lesson 4 ~ 8) 帯：動詞・形容詞のインプットを行う。スモールトークを行う。(日本の文化の情報収集+練習)					
10	Round 4 : 自分の表現に結び付けられるよう、フレーズや言語形式に着目させる。(Lesson 4 ~ 8) 帯：言語材料の練習を行う。スモールトークを行う。(南アフリカの文化と日本文化の共通点と相違点を伝え合う。)	○			①	後日定期テスト
10	Round 5 : 教科書のストーリーを自分の言葉で伝える。(Lesson 4 ~ 8) 帯：スモールトークを行う。(課題解決に向けた練習を行う。)					
	パフォーマンステスト	○	○	○	② ④ ⑥	発表

6 本時の授業計画

【本時の目標】 つまらずに音読をすることができる。

【準備物・使用するソフト】 デジタル教科書、ピクチャーカード

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点・評価		
		学力	支援	評価
帯 15分	① ウォームアップ ○挨拶 ○課題の確認 ○単語(動詞・形容詞) ○スモールトークを行う。(日本の文化の情報収集のための練習)			
思考 ↓ 表現	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 本時のめあて 音のつながりを意識して、つまらずに音読をすることができる。 </div> ② 内容の振り返り 教師と生徒の口頭でのQAで話の内容を振り返る。			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 主なQA ・What's this? ・Have you ever eaten/seen this? ・Where can we see/eat this? ・Did you enjoy fireworks this year? </div>			

学力 動詞シートや形容詞シートを活用し、日本文化を紹介するときに活用できる表現をインプットする。

学力 動詞シートや形容詞シートを、繰り返し触れる、使うことでインプットを深化させる。

学力 Round5を見据え、自分の言葉で表現できることを教師側が意識をしながら、教科書の本文の内容を振り返るQAを行う。

支援 生徒に英語での答えを強要せず、日

	<p>③ 教科書を見ながら、1度流れを聞く。 指で教科書をなぞらせる。</p> <p>④ 1度個人読みを行う。</p> <p>⑤ 単語と単語のつながりの箇所を確認する</p> <p>⑥ ペアで読みの確認を行う。</p> <p>⑦ 個人練習を行う。</p> <p>⑧ オーバーラッピングをする。</p>	<p>本語でもよいことを前提とする。最終的にリテリングや、パフォーマンステストのときに英語で言えることができればよいので、それまではインプットを目的とするため、生徒の日本語での返答に対し、教師側が英語で言い換える。</p> <p>支援文字と音を一致させるため、指で教科書をなぞらせる。</p> <p>学習タブレットを活用し、繰り返し聞きながら正しい発音を意識させる。</p> <p>支援単語と単語のつながりを意識させる。</p> <p>支援ペアで確認をさせる。</p> <p>学習タブレットを活用し、個に応じたスピードで練習を行う。</p> <p>学習はじめより読めたことを実感させる。</p>
<p>振り 返り 5分</p>	<p>⑨ 本時の振り返り</p>	<div data-bbox="240 1025 1449 1193" style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>【生徒の姿の例】 外国の人とのコミュニケーションをすることに向けて、発音やイントネーションを意識して音読をすることができる。</p> </div>

<p>7 成果と課題</p>	
	<p>【成果】 帯：人あてクイズや人物の情報を聞き取る活動を通して、基本的な質問のパターンを理解することができた。また、動詞・形容詞シートの単語を、単元を貫く問いに合わせたリストにすることで、small talk に活用することができた。</p> <p>ラウンド：ラウンド1、2で繰り返し聞くことで、概要をつかんだ状態でラウンド3を迎えることができた。本時のラウンド3の音読活動では、繰り返し音読練習をし、1時間の中で「読めた」と実感できた生徒が多くいた。また、アクセントやイントネーションのポイントを生徒自ら気づいて読むことができた。</p> <p>【課題】 帯：教科書の既習内容をもとに英作文を作成することができたが、表現が限られてしまったため、相手に伝わるような内容でなかったため、相手を意識した表現を取り入れたものにしていく。</p> <p>ラウンド：these, those, they, traditional, popular, thing, favorite など生徒が読みにくいと感じる語の練習量や練習方法の工夫が必要であると感じた。スローラーナーに対する手立てとして、</p>

読み方の工夫だけでなく、読めるようにするための工夫が必要である。

8 生徒の作品等（記述例）

生徒の記述の例

Are you interested in Japanese food? Do you like Matcha? Matcha is a Japanese green tea. I think it is delicious.

Are you interested in Japanese food? Do you eat sushi? I like sushi. You can eat sushi at kurazushi. Kurazushi is a sushi restaurant.

Do you know miyajima? Miyajima is a shrine. You can see deer and eat agemomiji.

生徒の振り返り

- ・ family and I のところをつなげて読めるようになりたい。
- ・ ぼくは今回の学習で最初はすらすらと読めなかったけど、単語の一つ一つの読み方を読んで、文の繋がりを意識したら読めるようになりました。
- ・ 今回の英文は、1文目が短い単語が並んでいて早く読むことが難しかったです。なので、短い単語は繋げてから早く読めるようにしたいです。また、” are” はだいたい弱く読むほうがいいと思いました。
- ・ 今回の学習は前回と比べてとても難しかったです。ですが、速さや1つ1つの発音をつなげてみたら、だいぶ読めるようになりました。次は、音のつながり、詰まらずに読みたいです。